

第150回「つくば科学・技術産業イニシアティブ」

(Tsukuba Science and Technology Industry Initiative: TSTI)」

開催日：令和3年5月19日（水）

18:00～20:00 オンラインセミナー

共 催：つくば科学・技術産業イニシアティブ、
つくばサイエンスアカデミー

後 援：つくば横の会、つむぎつくば

協 力：卓越大学院プログラム・筑波大学柳沢先生
(一社) サステナビリティ技術設計機構
(オンライン運営)

議 事

I. 18:00 開会 小玉会長

II. 講演とワークショップ形式・意見交換 18:05 ～20:00

1. 講 演：18:05～19:30 [途中で質問OK、対話方式]

趣旨： バイオテクノロジーによる産業発展は、健康・医療分野はもちろんのこと、環境・エネルギー分野、素材・材料分野、食料分野などにおいて、世界中で急速に進んでおります。こうした背景には、昨今急速に技術革新を遂げているIT/AI技術とバイオテクノロジーの融合により、生物の機能を遺伝子レベルで迅速かつ正確に解明できる技術が開発されてきたこと、また、そうした機能を解析するために必要な生物（細胞）をコンピュータ上で設計し、それを実際に遺伝子改変生物（細胞）として生み出す術を人類が得られるようになったためであります。米国／欧州等の諸外国は、バイオテクノロジーによってもたらされる潜在力を充分認識し、バイオエコノミー戦略をいち早く打ち出し、持続的発展と脱炭素社会の実現にむけ、バイオ産業が次世代を担う産業の中心になることを目指した政策を展開しています。更にこのバイオテクノロジーがロボット技術やIT/AI技術と組み合わせられることによって、産業の新たな地平が拓かれようとしています。

こうした大きな産業構造の変革を的確に捉えつつ、日本の産業競争力の向上を図っていくため、今こそ産学官が戦略的に協働してダイナミックな取り組みを行っていくことが求められています。今回のイニシアティブでは、バイオテクノロジー発展に向けた「バ

イオテクノロジー第5次産業革命」(政策)策定の背景と、つくばでの世界に先駆けた「デジタルバイオエコノミー共創の場、国際拠点の形成」について、2名の講師からご講演を頂きます。

(1) ご講演1 18:05~18:45

テーマ:「イオテクノロジー第5次産業革命」策定の背景と課題」



講師:大阪大学特任教授徳増有治氏(元経済産業省)、

ご経歴等

東京工業大学工学部化学工学科卒業、経済産業省入省、大臣官房企画官、経済産業省・大臣官房審議官(産業技術担当)等を経て、現在、大阪大学・医学系研究科・特任教授(常勤)。専門分野は、大学の有する研究成果や、技術開発のハブ的機能が、社会が必要とする変革(社会的イノベーション)に効果的に活かされていくための方策について、現状における取り組みや課題を調査・分析し、新たな技術や研究成果が、社会変革に繋がっていくための、研究企画、研究組織構築のあり方、行政と連携した国内各種制度の変革・構築の進め方、国際戦略(事業環境整備)の進め方等について実証的な研究を行っている。

(2) ご講演2 (18:45~19:35)

テーマ:「デジタルバイオエコノミーの共創の場、国際拠点の形成」



講師：国立大学法人筑波大学（筑波大学附属病院）

医学医療系教授 西山博之氏

ご経歴等

京都大学医学部卒業・博士（医学部）、京都大学医学部附属病院、京都大学大学院医学研究科器官外科学（泌尿器科）准教授等を経て、現在、筑波大学医学医療系腎泌尿器外科教授、筑波大学附属病院副病院長。研究分野としては、動物疾患モデルおよびヒト生体試料を用いたゲノム解析等による泌尿器科疾患の病態解明と新規治療法の開発を行っている。また、JST COI-NEXT 共創の場「つくばデジタルバイオ国際拠点プロジェクトリーダーとして、つくば地区に集積しているバイオリソースと先端的解析技術を基盤として、附属病院、大学内研究センター、研究開発機関、地域等を有機的に連動させた新たな産学連携体制と社会実装化にむけたバイオ分野の国際拠点化にむけたプラットフォーム構築等を行っている。

2. ワークショップ形式・総合討論 19:35～20:00

○ご出席を希望される方は、下記のURLから、氏名、所属・役職、連絡先(e-mail、電話)を入力し、5月14日(金)までにお申し込みください。

後日、当日のオンラインセミナーに参加するための事前登録用URLとその後の手続き説明のメールお送りします。

<https://forms.gle/7bPkZbWjENF5oeGc7>